



Yokohama Arts Foundation

横浜美術館 2017 年度企画展スケジュールが決定！

2017 年度、横浜美術館では2つの企画展と、3年に1度の現代アートの祭典「横浜トリエンナーレ」を開催します。横浜美術館ならではの視点で展開する3本の展覧会を、ぜひ多くの方にお楽しみいただきたく、広く報道いただければ幸いです。

■ファッションとアート 麗しき東西交流 2017年4月15日(土)―6月25日(日)



19世紀後半から20世紀初頭にかけての、美術とファッションの東西交流に焦点を当てる展覧会。日本では明治期に開港した横浜を一つの拠点として、西洋からもたらされたファッションやライフスタイルが、人々の暮らしに浸透していきました。一方、西洋へは日本の美術品や着物が盛んに輸出されるようになり、ジャポニスムのブームが起きました。

本展では、京都服飾文化研究財団(KCI)所蔵のドレスや服飾品約70点をはじめ、絵画、工芸品など計約180点を展覧し、日本と西洋が互いの装いと生活の文化をどのように受容・展開し、新しい美を見出していったかを紹介します。

ドレス ターナー、イギリス、1870年代 京都服飾文化研究財団蔵
©京都服飾文化研究財団、リチャード・ホートン撮影

■ヨコハマトリエンナーレ 2017「島と星座とガラパゴス」 2017年8月4日(金)―11月5日(日)



第6回を迎える横浜トリエンナーレでは、タイトルにある「島」「星座」「ガラパゴス」という色々な捉え方のできるキーワードを通して、世界の孤立や接続性、想像力や指標(道しるべ)、独自性や多様性など様々な状況を考えていきます。そのために、ジャンルや世代を超えたメンバーによる「構想会議」を発足し、本展に先立ち、2017年1月よりキーワードを手掛かりとした連続会議「ヨコハマラウンド」を実施します。国内外の作家を招いて行われる展覧会と「ヨコハマラウンド」とを合わせて、先行きの見えない複雑な時代に、人間の想像力・創造力をもって、未来への知恵を多くの人々と共に考える機会を提供します。

ヨコハマトリエンナーレ 2017「島と星座とガラパゴス」イメージビジュアル

■石内都 肌理と写真 2017年12月9日(土)―2018年3月4日(日)



石内都
《絹の夢 #50 併用緋銘仙 桐生》
2011年、発色現像方式印画
©Ishichi Miyako

石内都(1947年群馬県桐生市生まれ)は、2014年に日本人女性として初めてハッセルブラッド国際写真賞を受賞するなど、現在、国際的に最も高く評価される写真家のひとりです。

本展は、1980年代に石内が横浜を撮影したシリーズをはじめ、横浜と桐生を結ぶ絹織物・銘仙に取材した〈絹の夢〉や、現在でも毎年撮影が続けられている〈ひろしま〉など、新作や未発表作を含めて構成されます。街、身体、遺品、絹織物などを被写体として、初期から現在にいたるまで一貫して人間の記憶と痕跡を表現し続ける石内の活動を包括的に紹介します。

※上記は2016年10月14日時点の予定です。今後変更が生じる場合もございますこと、予めご了承ください。

お問合せ先 *本日は17時まで在席しております。

横浜美術館 【公益財団法人横浜市芸術文化振興財団】

経営管理グループ 広報渉外チーム 担当グループ長 西澤 洋 Tel 045-221-0368

経営管理グループ 広報・渉外チーム 広報担当 宮野、藤井、長濱 Tel 045-221-0319